



平成23年9月26日

各 位

上場会社名 株式会社明豊エンタープライズ
代表取締役 梅 木 篤 郎
社 長
(JASDAQ コード 8927)
取 締 役
問合わせ先 執行役員 安 田 俊 治
管 理 部 長
(電話番号 03-5768-6573)

たな卸資産評価損及び固定資産の減損損失・訴訟損失引当金の特別損失への計上ならびに

平成23年7月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成23年7月期決算において、下記のとおり、たな卸資産評価損を売上原価に計上し、固定資産の減損損失、訴訟損失引当金繰入額を特別損失へ計上しましたので、お知らせします。

また、平成23年8月5日付にて発表いたしました平成23年7月期(平成22年8月1日～平成23年7月31日)連結業績予想と本日発表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上

当連結会計年度におけるわが国経済は、急速に進む円高による輸出環境の悪化や株価の低迷等により企業業績の悪化が懸念され、雇用、所得環境の減退感が払拭されないことから、景気回復スピードは鈍化し、踊り場の状況が続いております。また、東日本大震災の影響から電力不足による生産の減少及び消費マインドの悪化等といったリスク要因が内在しており、実態経済は依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する不動産業界においては、マンション市場は昨年を上回る供給と販売状況の好転により平成23年2月までは比較的堅調に回復してまいりました。但し、所得・雇用環境は依然として本格的な回復には至っていないうえ、不動産各社に対する金融機関の貸出姿勢も依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは今後の事業の再構築を目指すにあたり、保有資産の抜本的な見直しを行い、たな卸資産評価損1,469百万円を売上原価に計上しました。

2. 固定資産の減損損失、訴訟損失引当金繰入額の特別損失計上

上記1.「たな卸資産評価損の計上」と同様に、保有資産の抜本的な見直しを行い固定資産の減損損失293百万円と平成23年8月26日付公表の「訴訟の判決に関するお知らせ」に記載の訴訟損失引当金472百万円を特別損失として計上しました。

3. 平成23年7月期連結業績予想の修正

(1) 連結・通期(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	13,050	△260	△510	△480
今回修正予想(B)	13,051	△1,729	△2,021	△2,752
増減額(B-A)	1	-	-	-
増減率	0.01%	-	-	-

(2) 差異が生じた理由

営業利益、経常利益に関しましては保有資産の抜本的な見直しを行い、上記1「たな卸資産評価損の計上」に記載のとおり、たな卸資産評価損1,469百万円を売上原価に計上した結果、公表数値を下回りました。また、当期純利益につきましては上記2「固定資産の減損損失、訴訟損失引当金繰入額の特別損失計上」に記載のとおり、固定資産の減損損失293百万円、訴訟損失引当金472百万円を特別損失として計上しました。

このような状況から発表しておりました連結業績予想と本日発表の実績値に差異が生じました。

以 上